



隊友千葉だより

平成26年11月号 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

【事務所 開所時間】
月・水曜日 1300～1700
金曜日 1000～1500

関東甲信越静岡ブロック研修会終了
県は9月30日(火)及び10月1日(水)の両日、千葉市内ホテル及び習志野駐屯地において平成26年度隊友会関東甲信越静岡ブロック研修会を担任・実施し、無事終了した。初日は先崎一隊友会理事長等本部役員及び11個都県隊友会長・副会長22名を迎えて、「防災ボランティア活動」について、その実績・現状・問題点・今後の方向等について発表・討議した。会議終了後、磯部東部方總監、平本中部航空方面隊司令官、県内各部隊長(県相談役)並びに浜田靖一・西田 謙・田嶋 要各衆議院議員、宇都隆史参議院議員ほかの特別会員及び協力団体の皆様に迎え、各支部長及び県役員も加えた120名が集い、和気あいあい賑やかに意見交換会を行った。会の冒頭に森田健作千葉県知事からのメッセージを飯田千葉県庁危機管理課次長に代読して頂いた。翌日、先崎理事長以下各都県隊友会長・県役員30名は陸自第1空挺団(習志野駐屯地)を研修した。今回、準備及び実施の各般に亘り、献身的に支援して頂いた北野明子予備自室長以下自衛隊千葉地方協力本部の皆様及び部隊研修の展示・説明をして頂いた第1空挺団の隊員にこの場を借りて御礼申し上げます。



意見交換会



各都県 課題発表



空挺団研修



磯部東部方總監祝辞



成果物を前に

下総基地追悼式場清掃支援
沼南支部は、10月31日(金)に斎行される基地追悼式に先立ち、25日(土)9時から約2時間、下総水交会(会長 山本博秋氏)と合同で、満園副支部長以下13名が参加、慰霊碑周辺の清掃を行った。34柱が眠る慰霊碑は基地正門を入ったすぐ右側の木立の中に所在する。本番の追悼式には、河野副会長が参列、殉職隊員を慰霊した。



お見事！
宮本庸治 前安房支部長



富田会長から顕彰状を贈呈



在りし日の土屋理事役(前、中央)
自宅町内会のゴルフ仲間とともに、
葬儀にもご協力頂きました。



野田前総理祝辞



加藤高射隊長式辞



櫻井千葉稲毛支部長

第1高射隊50周年を祝う
空自第1高射隊長兼習志野分屯基地司令加藤雄一(二等空佐)は、9月21日(日)、創立50周年記念行事を挙行政した。野田佳彦前総理大臣、小林鷹之衆議院議員、船橋・習志野・八千代各市長、県議、市議、各協力団体代表及び部隊長など150名が参加。(県隊友会からは、浮城副会長と森船橋支部長が参加。)式典は加藤2空佐の式辞後、空自第1高射隊司令 田中耕太1空佐、野田元総理大臣、第1空挺団長 岩村公史陸将補の祝辞があった。野田元総理は、元自衛隊の最高指揮官経験者として、24年3月及び12月の弾道ミサイル破壊措置命令を毅然と遂行してくれた事に対する謝意を表された。岩村第1空挺団長は、「空自高射隊は陸と血を分けた兄弟。今後とも、駐屯地と空自分屯基地の協調を大切に、統合マインドを維持したい」と挨拶。引き続き訓練展示及び祝賀会食が行われ、祝賀会食は習志野分屯基地OB会長の櫻井武之千葉稲毛支部長の万歳三唱で締められた。



松戸記念式典



下総記念式典



松戸祝賀会食



下総祝賀会食

在葉部隊の開設記念行事
9月下旬から10月初めにかけて、恒例の駐屯地・基地開設記念行事が開催され多くの市民で賑わった。下総航空基地は9月27日(土)10時から榎田義孝衆議院議員他来賓多数を迎え記念式典が行われた。千葉県隊友会からは、河野副会長が来賓として、安達・河西理事役、小倉、小渡監事役及び中山沼南支部長ほか基地近傍の多数の会員が参加した。松戸駐屯地も同日、開催され、10時から倉田寛之元参議院議員(松戸駐屯地自衛隊協力会会長)、渡辺博道衆議院議員、猪口邦子参議院議員、本郷谷健次松戸市長、清水聖士鎌ヶ谷市長等来賓多数を迎え記念式典が行われた。式典後、東部方面音楽隊による音楽演奏、需品学校需品教導隊による訓練展示が行われた。祝賀会食のテーブルには他の記念祭ではなかなか見られない豪華な料理が並び、さすが需品のメックと感心しきりであった。なお、御嶽山噴火の情報が入ったためか、祝賀会食は、早めに終了した。

下志津追悼式場を整備

隊友会は10月18日に実施される「平成26年度殉職自衛隊員千葉追悼式」(千葉出身の陸海空殉職隊員46柱を追悼)に先立ち、10月2日(木)、会場である「鎮の庭」の樹木の剪定、草刈りなどの環境整備を支援した。昨年度までは四街道支部が中心となっており、稲毛・若葉の近隣支部の協力を得て支援してきたが今年度から県隊友会の事業として実施した。8月の支部長等会議で各支部長に参加をお願いした結果、例年参加の四街道・千葉稲毛・千葉若葉各支部の17名に加え、木更津支部2名、八街・佐倉・浦安支部各1名の老齢にして元気な会員22名により実施した。(若干1名は浦安支部所属で30代の高谷県理事役も参加)

朝8時半、入門手続後、「鎮の庭」に集合。この時、既に高射学校総務部総務班長山内3佐以下下の隊員により剪定作業などに必要な各種器材が見事に準備されていた。中尾四街道支部長の挨拶、作業班編成と作業内容の説明に続き、支那の帽子から顔をネットで保護し、竹竿を手にした立出の後藤四街道支部長から安全教育があり、作業前には竹竿で樹木をたいたいで蜂を追い払ってから取り掛かるようにとの注意喚起。昨年度は蜂に刺された経緯があり、その真剣な教育は説得力があった。県本部から作業手袋とタオルセットを参加者に配分、いよいよ3個作業班に分かれて作業開始。勿論、中央の「鎮」と記された慰霊碑周辺の立派な樹木の刈込み作業は、造園士である四街道支部の今泉会員と松浦会員を含む作業班が実施し、他2個作業班は、左右の刈込み作業などを担った。電動バリカン刈込機、高枝切込機など自分があった作業とそれに見合う器材を手に入れた。それぞれが勝手に芸術感覚を生かしての作業は、10時の休憩まで口を利く人もなく黙々と進められた。休憩時間には、高射学校総務部からお茶とお菓子が振る舞われホッと一時であった。11時半に午前中の作業を終了、12時から駐屯地隊員食堂で駐屯地司令である高射学校校長飯盛陸将補、副校長藤本1佐及び総務部長岩田1佐との会食を行って頂き、席上、学校長飯盛将補から陸軍厚生課長における

経験も含めてお話があり、「追悼式は殉職隊員のご冥福を祈るとともに、現役隊員が無事に任務を遂行できるように感謝し、今後の安全を誓うもので大変重要な行事であり、その準備を支援していただける隊友会に対して感謝します」というお礼の言葉を戴いた。

13時、午後の作業開始前に造園士である今泉会員から「疲れて慣れた午後には怪が多い。靴履し、長袖よし、ボタニよし、ヘルメット(帽子)よし」と、再度の安全教育は、経験豊富な本物の庭師の言葉であり、身に染みる機会教育であった。作業間もなく露雨が降ってきたが14時半までに刈込みなどは概ね完了し、最後に慰霊碑の前に整列して中尾支部長の号令で、無事に作業が終了できたことを御霊に感謝しお礼を申し上げ、今年度の支援作業を終了した。別れ際に、参加した高谷県理事役は「毎年、予備自衛官として訓練参加してお世話になっている下志津駐屯地にお礼ができました。」と言っている。造園士の今泉会員は「又、来年も下志津駐屯地を訪れ、楽しく作業し、元気に会いましょう」と声をかけていたのが、実に印象的だった。(翌日、7名の方が仕上げ作業を実施したことを中尾四街道支部長からお聞きした。)



中尾四街道支部長作業制

仕上がった「鎮の庭」 職人肌の剪定作業

殉職自衛隊員追悼式終了

陸自高射学校校長兼下志津駐屯地司令 飯盛陸将補は、10月18日(土)、11時から快晴の下、県隊友会員によって綺麗に整備された下志津駐屯地内「鎮の庭」において平成26年度自衛隊殉職隊員千葉追悼式を執行し、殉職隊員46柱の御霊を慰霊した。式には遺族13名の他、県知事代理、四街道市長、国會議員、同代理、県議・市議会議員、在葉部隊指揮官、最上級曹長・先任伍長、防衛関係団体、北関東防衛局、隊友会等総計61名が参列した。県隊友会から会長・副会長・支部長計20名が参列、殉職隊員を悼み、現役隊員の海外任務、離島防衛、災害派遣及び教育訓練における無事の任務遂行をお祈りした。



陸・海・空代表隊員 献花 飯盛下志津駐屯地司令 追悼の辞

ジブチ派遣隊員激励品贈呈

第1空挺団(団長 岩村公史陸将補)は、9月20日(土)、駐屯地食堂において、10月14日から平成27年2月上旬まで、4箇月間に亘り、第2次派遣海賊対処行動支援隊・警備隊(第2DGP)としてジブチ共和国内P-13C固定翼哨戒機活動拠点に派遣される対比地 貴行(ついでに、たかゆき)1等陸尉以下66名の隊員を壮行した。会には、派遣隊員家族の他、空挺同志会、船橋・習志野・八千代市各自衛隊協力会及び空挺団長以下の指揮官・最上級曹長・隊員など総勢220名が参加、派遣隊員の無事と任務完遂を祈り、激励した。県隊友会からは富田会長、柚木習志野支部長及び森船橋支部長が出席し、県隊友会を代表して激励品を贈呈した。※今年、7月以降、航空隊司令がP-13C哨戒機の部隊運用に係る業務に専念できる環境を整備するため、派遣海賊対処行動航空隊は、その運用に係る業務のみを行うこととなり、ジブチ関係当局等との連絡・調整を含む同航空隊の支援に係る業務を担任する派遣海賊対処行動支援隊が新たに編成された。



勤務の様子 激励品を贈呈

平成26年9月・10月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

- ご入会深謝・隊友会の発展に協力
- 【千葉若葉】 南澤 克彦(陸)
 - 【安房】 高瀬 正(海)
 - 【柏】 岩崎 茂(空)

平成26年秋の叙勲受章者

受章おめでとうございます【敬称略】

◆瑞宝重光章

- 【市川】 山本 安正(海)

◆瑞宝中綬章

- 【我孫子】 石飛 勇次(陸)
- ◆瑞宝小綬章
- 【松戸】 伊藤 元弘(海)
- 【八千代】 大和田 雅行(海)
- 【船橋】 金澤 重夫(事)
- 【佐倉】 小林 英男(空)
- 【鎌ヶ谷】 戸高 喜一郎(陸)
- 【市川】 西村 寛之(陸)
- 【習志野】 日高 久萬男(空)
- 【船橋】 宮崎 健二(海)
- 【我孫子】 森 勝信(陸)

◆瑞宝双光章

- 【茂原】 小和野 広二(海)
- 【印西】 内山 文俊(海)
- 【市川】 角田 宏昭(陸)
- 【千葉中央】 國松 眞澄(陸)
- 【館山】 鈴木 孝弘(海)
- 【松浦】 松浦 修二(海)
- 【四街道】 山崎 修(陸)

◆瑞宝単光章

- 【館山】 阿部 貞夫(海)
- 【小川】 勉(海)
- 【安房】 粕谷 一正(陸)
- 【松本】 隆(空)
- 【白井】 神野 昇(陸)
- 【齋藤】 勝巳(陸)
- 【四街道】 齋藤 勝巳(陸)
- 【千葉中央】 吉田 雄二(空)

県護国神社 秋季大祭奉仕

恒例の奉仕活動を10月8日(水)及び10月10日(金)に実施した。

8日の清掃奉仕は、当初5日(日)の予定を台風18号による悪天候のため実施日を変更して行った。当日は好天に恵まれ、山田正二県顧問を始め、支部長、会員、県理事役・監事役、総勢33名が参加、約3時間に亘り、境内裏側を含む全域を掃き掃除、除草及び清掃を実施するとともに、「ああ特攻勇士像」も綺麗に磨いた。今回は台風一過のため広い境内には落ち葉が多く奉仕者全員、汗びっしょりになって、ごみ袋100個を超える成果を得た。特に、毎回参加されている小林(松戸)、渡辺(鎌ヶ谷)、山根、鈴木、宮下、川島、藤田、大嶋(山武東金)の各会員、初めての参加となった理事役、二度目の相田会員(市川支部)の活躍には感謝。また、コーヒブレイク時には、宮澤禰宜からお菓子の差し入れと感謝の言葉が述べられた。

10日(金)大祭当日は8時から12時の間、支部長、会員、県理事役の総勢14名が参加、バス、タクシー、自家用車等で参列されるご遺族・関係者1068名の誘導を行い、晴天に恵まれ無事に任務を終えた。作業終了後、御神酒を頂き、竹中宮司から感謝の言葉が述べられた。次回、27年春季大祭も皆さまの御奉仕をよろしくお願いたします。

【千葉県護国神社担当理事役 河西信人】



「ああ特攻勇士之像」も清掃

たくさんの成果物を得た。



交通統制奉仕参加者



清掃奉仕参加者

寄付を頂きました。

ブロック研修会意見交換会に際し 県参与 二宮 俊夫様 県隊友会特別会員 吉成 庸子様 ありがとうございます。

隊友会中央防衛セミナー

10月9日(木)、午後、損保ジャパン日本興亜本社ビル講堂において河東哲夫氏(ジャパンワールドトレンズ代表・早大非常勤講師)及び呉 善花(オゾンファ)氏(拓大教授)を講師に迎え、開催された。この中で呉 善花氏は、韓国人と日本人の情緒の違い各種例を挙げて詳しく説明、「恨の文化、過去のことは忘れない」情緒の韓国人と「潔さを大事にし、過去のことには水に流すことのできる」情緒の日本人は互いに理解することはできないと結論付け、「日韓は日本の言葉にある、いわゆる『間』をとって付き合っていくしかない」と提唱した。



呉 善花氏

河東哲夫氏